



DA 2201

関係部署にご回覧ください。

--	--	--	--

全日本物流改善事例大会2022 (第36回)

発表者募集

～皆様が取り組んだ“改善事例”を募集! 発表事例より「物流改善賞」を決定!!～

■ 応募締切日

2022年1月14日(金)

■ 大会開催日(予定)

1日目: 2022年5月10日(火)

2日目: 2022年5月11日(水)

クリスタル
(発表者に授与いたします)

全日本物流改善事例大会2019



(過去会場風景より)

■ 主催 公益社団法人 日本ロジスティクスシステム協会／一般社団法人 日本物流資格士会

発表者募集のご案内

全日本物流改善事例大会は、優れた物流改善の事例を発表し、合理化の手がかりやノウハウを物流の実務者同士が共有し合う交流の場です。

改善対象範囲により、物流センター等での現場改善を対象とした「I. 物流業務部門」と運営・管理部門での改善を対象とした「II. 物流管理部門」の2部門で事例を募集いたします。

応募事例の中から選考された「優秀事例」は、全日本物流改善事例大会2022にてご発表いただき、クリスタルを贈呈いたします。

さらに発表された「優秀事例」の中から「最優秀物流改善賞」「優秀物流改善賞」*を決定し、2022年6月開催のJILS定時総会の席上で表彰式を行います。

身近な工夫や、さりげない努力、小集団活動による改善の成果を気軽にご応募ください。

物流現場、物流業務、物流管理部門等物流にたずさわる幅広い方々からの積極的なご応募をお待ちしております。

※旧名称「物流合理化賞」「物流合理化努力賞」。2022年大会より変更となります。

全日本物流改善事例大会2022 開催要領

経済活動の多様化に伴い、物流機能における改善のあり方も条件によって様々な取り組みがなされている。その結果、物流における優れた改善合理化のノウハウが多くの企業に蓄積されてきた。これを相互に発表し情報交換することは、物流改善活動の裾野を広げ、合理化のヒントを共有するうえで大きな意義がある。こうした状況を鑑み、「全日本物流改善事例大会2022」を開催する。

発表はオンラインにてライブ中継する予定です！

■ 会 期 2022年 5月10日(火)・5月11日(水) 10:00~17:00
(開催日時は予定)

■ 会 場 御茶ノ水ソラシティカンファレンスセンター sola city Hall
東京都千代田区神田駿河台4-6

■ 主 催 公益社団法人 日本ロジスティクスシステム協会 (JILS)
一般社団法人 日本物流資格士会

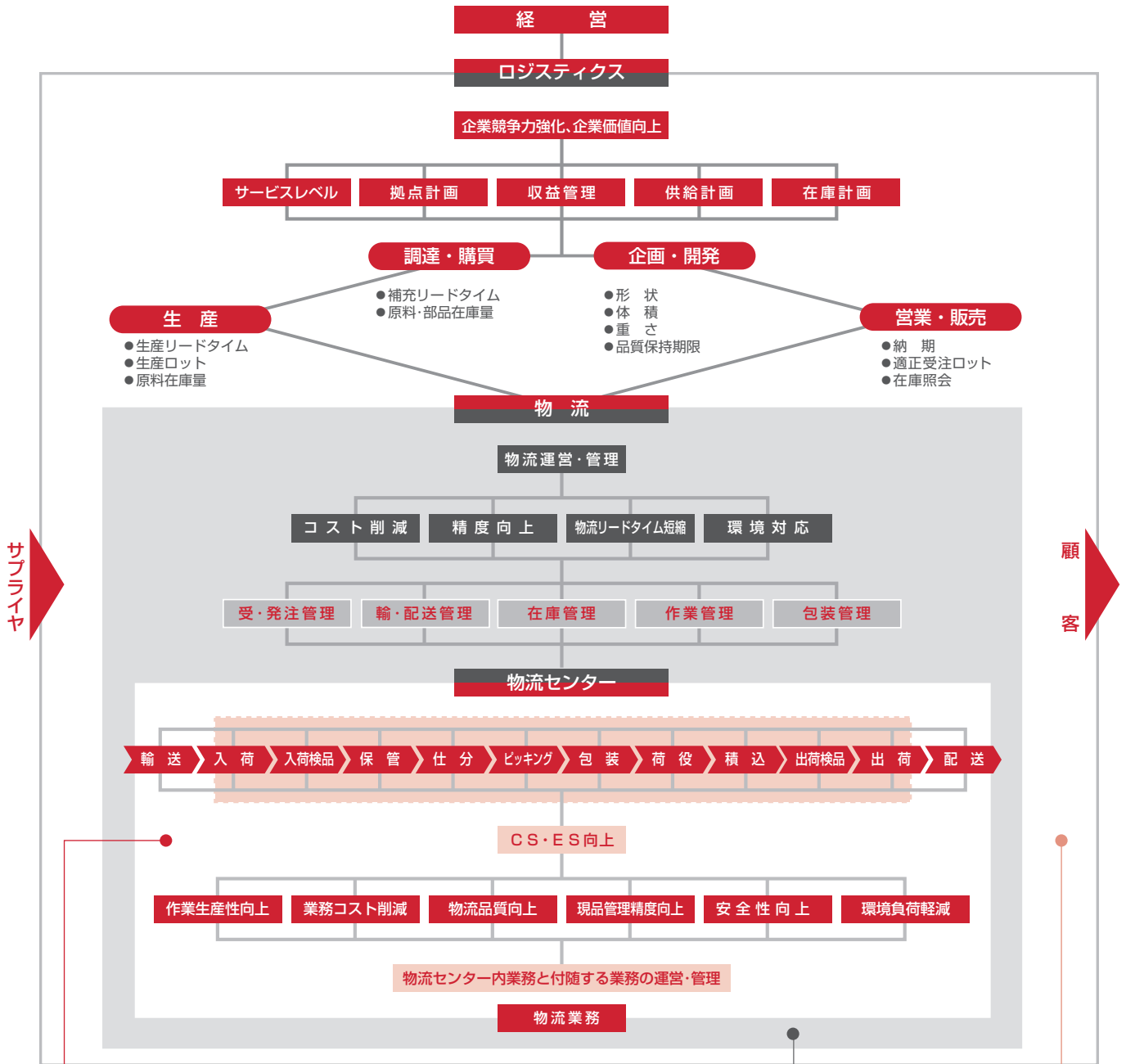
全日本物流改善事例大会 実行委員会 委員名簿

(2021年10月現在)

委員長	成蹊大学	名誉教授	渡邊 一衛
副委員長	東京海洋大学	学術研究院 流通工学部門 教授	黒川 久幸
委 員	伊藤忠食品(株)	ロジスティクス本部本部長代行 兼 ロジスティクス運営部 部長	神山 浩二
//	SBS東芝ロジスティクス(株)	物流改革推進部 企画担当 参与	脇田 哲也
//	SBSロジコム(株)	ファシリティ営業開発部 部長	三身 直人
//	(株)オカムラ	ロジスティクス統括部 受注管理センター 所長	磯崎 隆之
//	(株)カスミ	商品開発本部 物流担当マネジャー	齋藤 雅之
//	サッポログループ物流(株)	本社物流開発部 開発グループ部長	谷垣 直史
//	山九(株)	ロジスティクス・ソリューション事業本部 企画部 部長	石渡 教雄
//	(公益)日本ロジスティクスシステム協会	JILSアドバイザー	飯田 正幸
//	大成建設(株)	エンジニアリング本部 副本部長	倉林 宏行
//	日本システムウエア(株)	ITソリューション事業本部 営業統括部 第二営業部 マネージャー	東川 喜之
//	日本通運(株)	ロジスティクスエンジニアリング戦略室 専任部長	成瀬慎一郎
//	福島大学	理工学群 共生システム理工学類 准教授	寛 宗徳
//	本田技研工業(株)	四輪事業本部 SCM統括部 サプライチェーン管理部 事業管理課 主幹 物流部会ヘッド	鈴木 勝
//	三菱地所(株)	物流施設事業部 リーシングユニット 専任部長	堀川 亮一
//	三菱電機(株)	生産システム本部 生産技術・ロジスティクス部 企画グループ 専任	安藤 直明
//	ロジスティクス エンジニア オフィス 茅ヶ崎	代表	藤巻 敬

募集領域

日本ロジスティクスシステム協会(JILS)では、「ロジスティクス」「物流」「物流業務」の3領域に区分して「ロジスティクス」を構成する1つの業務を「物流」とし、「物流」の中で物流センター内業務と付随する業務を「物流業務」としています。「全日本物流改善事例大会2022」では、「物流」と「物流業務」における改善事例を募集いたします。



本大会での募集部門

	I. 物流業務部門 (物流センター、工場、商業施設等の構内での現場改善)	II. 物流管理部門 (運営・管理部門での改善)
対象範囲	ひとつの作業所(現場)で完結する小集団が対象	複数の物流業務および工程を統合した範囲が対象
対象業務	輸送、入荷、検品、保管、仕分、ピッキング、包装、荷役、積付、出荷、配送	受・発注管理、輸・配送管理、在庫管理、作業管理、包装管理
関係部門	物流センター、生産工場、建築現場、病院、商業施設、港湾施設、高層ビル 等	物流部門 等
役割	作業生産性向上、業務コスト削減、物流品質向上、現品管理精度向上、安全性向上、環境負荷軽減 等	コスト削減、精度向上、物流リードタイム短縮、環境対応 等
主体者	主任・リーダー、派遣社員・パートタイマー、協力会社	課長、係長

	ロジスティクス
対象範囲	企画・開発、生産、物流、営業、販売を総合した範囲が対象
対象業務	企画・開発、調達・購買、生産、物流、営業・販売
関係部門	部門横断的(協力会社連携)
役割	サービスレベル、拠点計画、収益管理、供給計画、在庫計画 等

※上記領域区分については、「物流現場改善推進のための手引書(改訂版)」にて解説しています。
<https://www1.logistics.or.jp/Portals/0/images/education/support/ktebiki2018.pdf>
「JILS 改善手引書」で検索して下さい。

※上記領域区分における「ロジスティクス」に対する改革・改善事例については、JILSの「ロジスティクス大賞」へのご応募をおすすめ致します。
詳しくはJILSホームページもしくは事務局までお問い合わせください。

こんな事例ありませんか？

（身近に行われている生産性、物流品質、安全性、顧客サービス向上やコスト低減、環境負荷軽減を実現した事例はありませんか。）

I. 物流業務部門

（物流センター、工場、商業施設等の構内での現場改善）

- 庫内作業の改善例
 - ・ピッキングリストや棚表示、ピッキング作業の改善
 - ・人員配置の改善によるピーク時対応や負荷の標準化
 - ・荷役機械、保管設備、パレット、容器、情報端末等の改善
 - ・出荷頻度や取扱製品に応じた保管、配置方法の改善
 - ・作業環境、作業方法の改善
 - ・包装作業の改善
- 輸配送の改善例
 - ・復路輸送の空荷防止などによる収益の向上
 - ・誤出荷、誤納の減少
 - ・トラックの積載率、回転率、運行効率の向上
 - ・トラックの滞留・積載時間の短縮
- 輸出・輸入業務の改善例
 - ・港湾、空港など輸出入物流拠点における業務改善
 - ・コンテナ輸送における物流の効率化
 - ・通関業務における事務作業の改善 等
- テクノロジーを活用した改善例
 - ・省人化機器（ロボティクス）・IoT・AIの活用による効率化・改善

物流全般

- ・環境対応、環境負荷の低減を目指した活動
- ・CSの向上（クレームの減少）
- ・災害対応について（震災・水害等）
- ・教育訓練によるモラル・モチベーションの向上

II. 物流管理部門

（運営・管理部門での改善）

- 物流システムの改善例
 - ・物流拠点の統合・再配置による改善
 - ・事前出荷情報の取得と活用による改善
 - ・国内・海外物流拠点間輸配送の改善
 - ・港湾地区における渋滞への対応
 - ・IT・IoT活用による効率化、業務改善
 - ・物流に配慮した包装設計
 - ・パレット、包装資材の環境対策
- 管理系（取引条件等）の改善例
 - ・納期回答の迅速化
 - ・取引条件の変更による改善
 - ・物流変動に合わせた作業体制の構築
 - ・在庫の適正化 等
 - ・現場事務へのRPAの活用

- ・労働力不足への対応
- ・労働環境改善、働き方改革
- ・新型コロナウイルスの感染対応対策

※日本企業の海外現地法人での改善事例も対象です。

物流改善賞※

全日本物流改善事例大会 実行委員会では、大会でご発表いただいた優秀事例を審査し、「最優秀物流改善賞」および「優秀物流改善賞」を決定いたします。

2022年6月開催のJILS定時総会にて表彰式が執り行われ、受賞企業には正賞（表彰状）と副賞（賞金）を授与されます。また、JILS機関誌「ロジスティクスシステム」の他、専門雑誌および業界紙等で発表いたします。

2021年度 物流合理化賞※ 受賞事例

〈 物流合理化賞 〉

IEによるムダな動作を徹底的に排除、“考動”する現場へ変革
～効率的なユニットロード実現に向けた庫内荷役の生産性向上～

日通・NPロジスティクス株式会社

北海道地区用品供給モデルシフトの実現

株式会社ホンダアクセス

〈 物流合理化努力賞 〉

ロット切り替え指示のマクロ化

アサヒロジ株式会社

ピッキング工程のムダ取り改善

SBS東芝ロジスティクス株式会社

RPAを活用した庫内業務の省人化

SBSリコーロジスティクス株式会社

冷凍食品物流における倉庫生産性の向上

F-LINE株式会社

出荷波動に対応できる物流体制の構築 ～出荷作業の平準化～

コーセル株式会社

4Sフロア ソリッド部門の生産性向上

山村ロジスティクス株式会社

●社名は受賞当時のものです。

※2022年大会より、「物流合理化賞」は「最優秀物流改善賞」に、「物流合理化努力賞」は「優秀物流改善賞」に変更となります。

応募要領

1. 募集部門

- I. 物流業務部門(物流センター、工場、商業施設等構内での現場改善)
- II. 物流管理部門(運営・管理部門での改善)

2. 応募方法

①発表申込書、②アブストラクト(発表内容をA4用紙1枚にまとめたもの)を事務局宛にご送付ください。
メールにてご応募を受け付けております。

申込書はホームページからダウンロードして下さい。 <https://www1.logistics.or.jp/>

※優秀事例の選考は発表申込書及びアブストラクトの内容を基に行います。

必ず事前にアブストラクト作成要領をご参照いただきご作成ください。

※企業および製品・サービスPR内容でのご応募はご遠慮ください。

<メール送信先>

公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会 JILS総合研究所 青柳 宛
kaizenjirei@logistics.or.jp

応募締切日
(締切厳守) 2022年1月14日(金) 必着

3. 選考および審査基準

優秀事例の選考および物流合理化賞の審査は下記基準のもと行われます。

①現状把握度

自社および自部門の目標や、物流特性を理解し、現状を正しく認識した上で解決すべき問題を抽出し、原因の分析ができていますか。

②改善企画度

抽出した問題点に対して、具体的に実行可能な改善計画を立案し、改善活動に関わる全ての人に理解できる目標を策定できているか。

③改善実行度

改善計画の実行を周知徹底し、マニュアル等を活用して教育指導・コミュニケーションを図り、トラブルなどにも適切に対処できているか。

④評価・定着度

改善の進捗状況や、その達成度合いを正しく評価し、必要に応じて改善活動の促進を図るとともに、活動を定着化することができているか。

⑤成果度

顧客満足度や生産性の向上など現場および自社内や関係企業への定量的な効果。

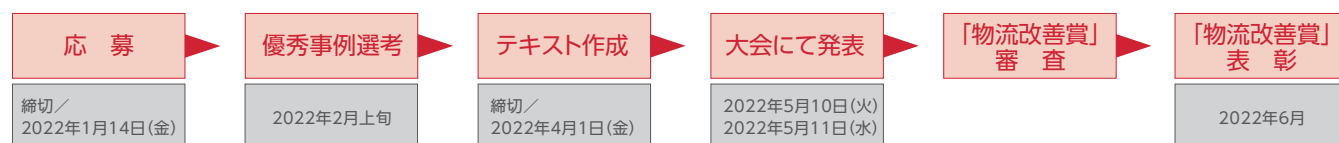
⑥表現力

改善内容を分かりやすくテキストや発表で表現できているか。

⑦総合点

上記項目では評価されにくい部分について総合的に判断する。

4. 応募から表彰までのスケジュール



5. 優秀事例選考

実行委員会にて発表申込書およびアブストラクトの内容を基に応募事例を選考し、「優秀事例」を選出いたします。優秀事例につきましては2022年5月10日(火)・5月11日(水)開催の「全日本物流改善事例大会2022」にてご発表いただきます。(1テーマ20分程度) ※発表日・時間は事務局にて決定させていただきます。なお、1社から複数の事例があった場合は、発表いただける事例数に制限をさせていただく場合もございます。

6. テキスト作成の締切日

優秀事例に選ばれた方には、大会にて配布するテキストの作成をお願いしております。

テキストは改善の背景・目的・成果等、ご発表頂く内容を網羅したものを作成してください。

詳細につきましては別途ご案内いたします。

原稿締切日 2022年4月1日(金)

お申し込み・お問い合わせ先

公益社団法人 日本ロジスティクス システム協会
JILS総合研究所 青柳
TEL:03-3436-3191 メール:kaizenjirei@logistics.or.jp



全日本物流改善事例大会2022発表申込書

発表はオンラインライブ中継する予定です。

会社名			
所在地	〒 _____		
所 属		役 職	
ふりがな			
氏 名			
T E L	_____	F A X	_____
E-mail	_____@_____		

1. 応募部門

◆どちらかの部門にチェックをお願いします。

	☐ I.物流業務部門	☐ II.物流管理部門
対象範囲	ひとつの作業所(現場)で完結する、小集団が対象の事例	複数の物流業務および工程を統合した範囲が対象の事例

◆改善事例の対象となる業務に○をつけてください。(あてはまる業務すべて)

物流業務

輸 送 > 入 荷 > 入荷検品 > 保 管 > 仕 分 > ピッキング
包 装 > 荷 役 > 積 込 > 出荷検品 > 出 荷 > 配 送

その他 _____

物流管理

受・発注管理 輸・配送管理 在庫管理
作業管理 包装管理

その他 _____

◆改善事例における主な取り扱い製品をご記入ください。

2. 改善事例テーマ

※取り組み内容やポイントがわかるようなテーマ設定してください。発表の際のタイトルとなります。
※社名の入ったタイトルはご遠慮ください。

3. 改善事例について要約文をご記入ください (150文字以内)

※大会パンフレットに掲載いたします。

4. 今回お申し込みいただいた改善事例のどこがセールスポイントであるか、社内外の方の評価をお書きください

本申込書にアブストラクト(発表内容をA4用紙1ページにまとめたもの)を添付して、事務局宛にご送付ください。

企業および製品のPR内容でのご応募はご遠慮ください。

公益社団法人 日本ロジスティクスシステム協会では、個人情報の保護に努めております。

詳細は当協会のプライバシーポリシー (<https://www1.logistics.or.jp/privacy.html>)

をご覧ください。

応募締切日 **2022年1月14日(金) 必着**
(締切厳守)

※応募締切日を過ぎた発表申込書は受理できませんのでご注意ください。